

ひろしまモビリティワールド事業の進捗状況等について

1 要旨

ひろしまモビリティワールド事業の進捗状況等を報告する。

2 内容

(1) 開業に向けた進捗状況について

	進 捗 状 況
施設 整備等	[基盤整備について] ○ 令和7年6月中旬に地元建設会社の㈱増岡組と事業用地内の道路や上下水道、電気、通信インフラ等の基盤整備に係る設計業務契約を締結し、10月末に基本設計が完了した。 ○ また、令和7年7月末に上記建設会社と契約を締結した事業用地のボーリング調査も10月末に完了し、現在、事業用地の開発許認可を所管する広島市と工事着手に向けた調整を行っている。 [各エリアの整備等について] ○ 不動産事業者において各エリアの設計を行いながら、運営事業者と不動産事業者が連携してテナント事業者やイベント事業者等との調整を進めている。
推進 体制	[運営事業者の体制強化について] ○ 建築担当、クリエイティブ担当、イベント担当などに関する専門人材を新たに雇用し、事業推進体制の強化を図っている。 [地元関係者との協議体制について] ○ 事業用地周辺の事業者や学校、地元町内会等、約30団体を参加対象とした「ひろしまモビリティワールド地域連絡会」を立ち上げ、今月10日に、地元関係者に対して事業概要等の説明を行った。
資金 調達	○ 現時点で5社から合計8.5億の出資がなされており、運営事業者による投資額(30億円)の3割を超える出資が年内に完了する見込みとなっている。また、金融機関において、工事着手時期頃からの融資実行に向けた最終調整を行っている。

(2) その他

- 令和7年4月に締結した事業用定期借地権設定契約に基づき、令和7年9月末までの賃料約6,200万円が県に納付されている。
- 令和6年10月に改定された「西飛行場跡地利用計画」に基づき整備される新たな道路と事業用地の接合部の設計等について、随時、関係者との調整を行っている。

3 今後について

引き続き、進捗状況の確認を適切に行いながら、県においても、広報活動や地元関係者との調整などに運営事業者と連携して取り組んでいく。